



2023. 11. 28

- 2/3 情勢・辺野古代執行裁判
 - 国際・軟弱地盤に在沖米軍が懸念表明
 - 4/5 沖縄県民平和大集会報告
 - オンラインセミナー報告
 - 6/7 交流広場
 - コラム・喜瀬武原コンサート
 - わんさか通信★ジュゴンのわ
- 



10月30日、辺野古新基地建設の設計変更を沖縄県に代わって承認するための「代執行訴訟」の第1回口頭弁論が福岡高裁那覇支部で開かれた。玉城知事は「沖縄県の自主性及び自立性を侵害する国の代執行は、到底容認できない」と毅然と意見を述べた。2019年の県民投票や知事選で新基地建設反対の民意が示されている。

そもそも行政不服審査法に基づく審査を私人に成りすまして請求し自分で自分の請求を認めたのに続き、今度は自ら進める工事の承認まで強行する無法行為を許してはならない。2000年の地方分権改革で、国と地方自治体の関係は「対等・協力」であり、上位・下位ではないと位置づけられた。しかし政府が行おうとしている代執行は、自治の理念に真っ向から背き、民主主義の根幹を破壊する暴挙だ。

「代執行」許すな！ジュゴンの棲む海を守ろう！

2019 年辺野古・大浦湾一帯が日本で初めて「ホープスポット」（希望の海）に認定された。NGO「ミッション・ブルー」が重要な海域に保護の網をかけるために実施しているプロジェクトだ。

2022 年 12 月に開催された国連生物多様性条約第 15 回締約国会議（COP15）は、2030 年までに地球上の陸域、海洋・沿岸域、内陸水域の 30%を保護するという画期的な決定をした。（30by30）ホープスポットに認定された辺野古・大浦湾に新基地を建設することは、COP15 合意である「30by30」に逆行するものだ。

首都圏では、辺野古の海を土砂で埋めるな！首都圏連絡会が「とんでもないぞ！辺野古『代執行』反対キャンペーン」を開始する。「沖縄を再び戦場にさせない県民の会」は、11月23日に県民大集会を那覇市奥武山公園で開催することを決定した。全国でこの集会に呼応した取り組みが予定されている。支持率が急落している岸田政権に対して、各地から「代執行」許すな！ジュゴンの棲む海を守ろう！の声を上げていこう！

玉城知事は、裁判所前の集会で「未来のために道をつくっていかねばならない」と発言した。しっかり胸に刻んで取り組んでいきたい。（首都圏 三村昭彦）

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



10月29日、四年ぶりの開催となった名護市瀬嵩の満月まつり。(7面)



11.23 沖縄県民県民平和大会 ステージで
平和への思いを語る登壇者の皆さん。(4面)

情 勢（事務局）

地方を犠牲にした公益はない～辺野古・代執行裁判

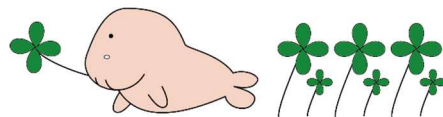
10月30日、福岡高裁・代執行裁判第1回口頭弁論で、玉城デニー沖縄県知事は「『県民の民意』は公益性があるので代執行は認めない」「設計変更承認は県の権限である」と実質審理を求めました。しかし、高裁はわずか40分で即日結審。「普天間基地の辺野古移設」の閣議決定から24年、さらに新基地建設のメドがないまま普天間基地周辺の住民を危険な状態下に置くことは許せません。直ちに普天間基地を閉鎖すべきです。

軟弱地盤が改良できない限り新基地建設はできません。共同通信が情報公開で入手した「2007年地質調査報告書」では、辺野古周辺の海底に「軟弱な沖積層が広く、厚く分布する」、追加のボーリング調査などで「設計施工に必要な基礎資料が必要」としています。しかし、沖縄防衛局は追加調査せずに埋め立て承認申請（13年）し、承認後にボーリング調査を実施。20年4月になって設計変更申請したのです。だから、「2018年に大浦湾の軟弱地盤などの説明を受けたが納得のいく説明はなかった」（マティス元国防長官の在任時、新基地問題に関わった元米政府高官）と米国の了解を得られないままなのです。

11月5日「国による代執行を許さない」集会（オール沖縄主催）で、玉城デニー知事は「未来への沖縄県民が間違った判断はしないんだ。負けてなるものか」と決意を呼びかけました。

沖縄を再び戦場にさせない 11・23 沖縄県民大会に連帯する闘いは全国各地に広がっています。岸田内閣が「台湾有事」と中国脅威論を煽り、奄美大島、宮古島、石垣島にミサイル部隊を配置。最南端の与那国島では国民保護法に基づく住民避難説明会を開くことで「闘う覚悟」（麻生自民党副総裁）を強要しています。先島諸島から九州各県に12万人避難させるために、松野官房長官が10月17日熊本県知事（九州地方知事会会長）に「移動手段や受け入れ施設の整備計画を来年度中に策定すること」を求めています。全国的な戦時体制づくりです。

ウクライナ戦争が500日を超え、即時停戦を求める声が高まっています。ハマスのテロ攻撃を口実に、イスラエルはパレスチナ人を1万人殺戮するなど国際人道法違反を続けています。「ノーモア戦争、即時停戦」「命どう宝」の声を大きくしましょう。岸田内閣は国民に「闘う覚悟」を迫るのではなく、中国との平和友好条約をふまえた外交を進める責任があります。辺野古大浦湾はHopeSpot（希望の海）、軍事基地ではなく海洋保護区に。市民の力で、アジア・世界との万国津梁（しんりょう）を創り上げましょう。



気候野心サミット～岸田首相演説できず

9月20日地球温暖化対策について話し合う第3回気候野心サミットが「温暖化対策の先行者と実行者」の30数か国に限定して開催されました。CO2排出量が過去最高の前年比0.9%増について、グテレス国連事務総長は「人類は地獄の扉を開けてしまった」と削減に消極的な主要国を批判しました。排出量世界第5位（注）、前年比3億トン増の岸田首相が、野心サミットでの演説を断られたのは当然です。参加したブラジルは「排出削減目標の引き上げと30年までに森林破壊ゼロ」を、カナダは「年内に石油・ガスの排出量に上限を設ける」など決意表明しました。

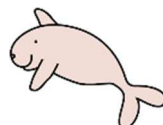
9月上旬北アでは大洪水で1万人が死亡。ニューヨーク市では100年に一度の大雨で、地下鉄が海底トンネルとなり一部運休。「インフラが対応できる速度を超える速さで気候が変化して

ている」（ニューヨーク市）と異常な天候を明らかにしています。

日本でも記録的な猛暑で、新潟県では1等米が3等米に品質が落ち米作農家に廃業が出てきています。世界では大規模災害で住む場所を追われた気候変動難民が増え、「2050年には2億人を超える」（国連難民高等弁務官）と言われています。今年開かれる気候変動条約COP28（UAEドバイ11月30日から12月12日）では「後発開発途上国のための、『温暖化による損失と損害基金』の設立」を決定します。論点は①資金を拠出するドナーは「先進国と国際税」で、②資金の受け手は「途上国の中で特に脆弱な国々」などです。

（注）第1位中国、第2位米国、第3位インド、第4位ロシア

（事務局 蛭川義章）



軟弱地盤に在沖米軍が懸念表明／生物多様性条約への働きかけ



国際担当からの報告



チャンブルーニュース 9 月号発行後、辺野古新基地建設に関する重要な展開があり、また「昆明—モントリオール生物多様性枠組」への市民社会の具体的な働きかけが始まっている。それらを紹介したい。

在沖米軍による軟弱地盤への懸念表明

まず重要な展開とは、11 月 7 日、在沖縄米軍の幹部が沖縄県内外のメディアに対して「ワークショップ」を開催し、辺野古新基地建設地における軟弱地盤に対する懸念や見解を表明したことだ。沖縄タイムス（11 月 8 日）によると、軟弱地盤は「軍事上影響の可能性」があるとし、「滑走路が沈むような場所では建設は難しい」と言及。さらには、辺野古新基地は「軍事上の機能が低下する」として、同基地が完成したとしても、普天間基地を維持したいと表明した、としている。

これらの懸念や見解は、「辺野古が唯一」とする日米政府のこれまでの主張と相反するものだ。それゆえ、辺野古新基地建設計画を中止させる重要な材料になると言えよう。

今回米軍により表明された懸念や見解は、これまで日本の専門家や NGO は勿論、米国連邦議会調査局や会計検査院、そして米国の有力シンクタンクが報告書等を通して示してきたものだ。しかし基地を使う主体である米軍が、公に軟弱地盤の問題について言及することはなかった。それゆえ在沖米軍による今回の懸念や見解の表明の意義は大きい。なぜなら、新基地建設を問題なしとするのは、日本政府と日本の裁判所のみとなったからだ。

SDCC は、防衛省との要請交渉において、連邦議会やシンクタンクの軟弱地盤に対する厳しい見解に言及し、軟弱地盤改良工事で基地建設が可能であると米軍も了解しているのか、と追求してきた。防衛省は、米軍の見解には言及せず（できず）、「（防衛省は）軟弱地盤について米側に説明している」との回答に留まっていた。

この要請交渉の延長として、9 月 11 日に Okinawa Environmental Justice Project (OEJP) が、米国情報公開法 (FOIA) を使い、軟弱地盤に関しての国防総省（米軍）の分析評価の公開を請求していた。また OEJP は、情報公開請求をしたことを、米国連邦議会調査局や米国会計検査院に報告した。この市民社会の取り組みは、沖縄県内のメディアによる国防総省への軟弱地

盤問題に関しての情報公開請求にも繋がっていた。これらの一連の動きが、今回の在沖米軍による懸念や見解の表明に関係していると考えることが言えよう。

今後、この新たな展開をどう活かしていくかが鍵となる。市民社会としては、まず国防総省に対して、再度 FOIA を使い、今回の在沖米軍の幹部の発言のもととなった資料や報告書の公開請求に繋がたい。

生物多様性条約 SBSTTA への働きかけ

SDCC は、生物多様性条約の「昆明・モントリオール生物多様性枠組」における「30by30」の保護区に、辺野古・大浦湾沿岸一帯／ホープスポットとやんばるの森全体を入れさせることを目指している。これは環境省との要請交渉でも重要な議題となっている。

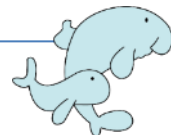
生物多様性という観点からいけば、優先的に保護区になるべき 2 地域だ。しかし、辺野古新基地建設や北部訓練場の問題があり、環境省は保護区指定に後ろ向きだ。そこには環境省と防衛省、外務省との力関係も見え隠れする。

この状況の中で、市民社会から生物多様性条約への直接的働きかけが重要な意味をもつと言える。今回、沖縄の市民社会の取り組みとして、OEJP と The Informed Public Project が、生物多様性条約に関わる NGO や地域グループで形成される市民社会組織「CBD アライアンス」のニュースレター「ECO」に寄稿した。

「SBSTTA（生物多様性条約科学技術助言補助機関会合）は、戦争と軍事活動について考慮すべきだ」というタイトルの寄稿文では、生物多様性の損失や気候変動には戦争や軍事活動も要因であると指摘。軍事基地や訓練により常に生物多様性が脅かされる沖縄から、「昆明・モントリオール生物多様性条約枠組」が実質的な効果を持つために、同条約に対して、戦争や軍事活動の問題を提議し続けていくとした。

小さな一歩ではあるが、重要な取り組みであり、SDCC としてもこの取り組みを発展させていきたい。（国際担当 吉川秀樹）





沖 縄

11.23 県民平和大集会 in 沖縄

～対話による信頼こそ平和への道～

青空の下 26℃のポカポカ陽気に恵まれ 1 万超の人が集まり、沖縄を再び戦場にさせない為声を上げました。まずはデニー知事の登場で会場は一気に盛り上がります！「子供たちの未来の為、平和の思いを全世界で共有する為に行動しましょう」の声に大きな拍手と共に連帯感がうまれました。各地からの連帯あいさつが続きます。辺野古の新基地反対運動からは浦島悦子さんが登壇、踏みにじられた 26 年だった、しかしどんなに踏みにじられても国が代執行をしてまでも進める工事はまだ全体の 26%に踏みとどまっているのも事実です。と長きに渡るたたかいを振り返り、大切なのは自然と平和、命の源、命育む森、海を戦争の為に使用してはなりません！命のバトンを世代間のバトンを繋ぎましょうと素晴らしいスピーチでした。

次世代へのエールと、離島では反対の声をあげにくい孤立してしまう状況がある事に危惧し、島はひとつ平和も共にと、また沖縄だけではなく全国各地で集結

している仲間と手を繋ぎ連帯をするスタートだ！と宣言し会場は大きく沸きました。

会場で突然「どうも」と声を掛けられ顔をあげると三多摩歌舞団のメンバーが！こんな所で十数年振りの再会とは、東京から 20 名くらいで駆けつけたとの事。会場入り口で皆を迎えていた海勢頭さんとも会えて喜んでいました。「命どう宝」連帯、繋がってるね♪

(沖縄 小平裕美)



1 万人があつまり会場を埋めました

首都圏



沖縄も日本も戦場にさせない！ 国会正門前アクション

沖縄の県民大集会に呼応して、首都圏では、国会正門前アクションが開催され、約 2 千人が参加しました。奄美大島、宮古島、石垣島、与那国島など各地の代表がリレートークを行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。

夜は、文京区民センターで「報告集会～宮古島、石垣島、与那国、種子島の現場から」と、リレートークでは時間の制限で言えなかったことなどを詳しく聞こうと、集会が行われ、昼間の疲れも見せず約 200 人が参加しました。

(首都圏 宮城紹子)



各地の代表が国会前で声をあげました

関 西



沖縄を再び戦場にさせない！ 沖縄県民大会同時アクション in おおさか

大阪では 9 月から 4 回の実行委員会議論を積み重ね、11.23 県民集会同時アクション in おおさか を開催しました。音楽イベントとリレートークで構成し、400 名以上の仲間が集まりました。

集会アピールで「沖縄も日本も、パレスチナもウクライナも、そして世界中のどこでも戦場にしてはいけません。沖縄を戦場にする大軍拡に走る今の政治を変えることを誓います」と訴えました。(関西 松島洋介)



演奏する Swing Masa さん (中央) 腕ジュゴンも登場

報 告

第6回ジュゴンオンラインセミナー 「ホープスポット～辺野古・大浦湾を海洋保護区に」

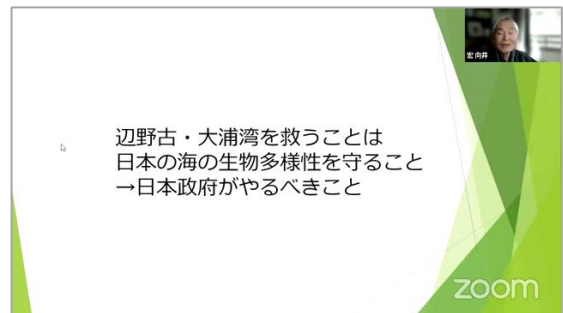
今回は、北海道大学名誉教授で、海草生態系の群集生態学とジュゴン研究にも従事された向井宏さんから沖縄ジュゴンの現状や海洋保護区についてお話を伺いました。

辺野古周辺にいたジュゴン 2 頭が基地建設工事により姿を消し、大変心配していましたが、昨年辺野古近くの久志でジュゴンの糞が発見され生きていることがわかりました。向井さんは「日本は生物多様性条約締結国として、ジュゴンの保全を図る国際的責務がある」とおっしゃっています。

2010 年第 10 回生物多様性条約国会議（名古屋）では、2020 年までに陸 17%、海 10%を保護区にと目標設定されましたが、日本政府は漁業権海域（保護の対象は商業種のみで生態系は考慮されない）を保護区に入れるなどで 10%達成の数字合わせをしました。一方 2016 年環境省の検討会議（向井さんも参加）で全国的重要海域が抽出され、辺野古・大浦湾も重要海域に指定されます。そして 2022 年締約国会議（モントリオール）では、2030 年までに陸と海の 30%以上を保護区にという目標（30by30）が設定されました。「重要海域」を真の保護区にするには、漁業権による保護区から積極的な生態系保護区へ、またホープスポットのような民間主導の保護区の提案や国際協力が求められます。



向井さんの「辺野古・大浦湾を救うことは 日本の海の生物多様性を守ること。しかし、日本政府は全くこれをしていないのが現状。市民が声を上げることが必要」との声を受け、みんなで大きな声を上げ続け、辺野古の海を真の海洋保護区にしましょう。（関西 山根富貴子）



報 告

11/18-19大阪自然史フェスティバルでジュゴン保護をアピール！

大阪自然史博物館で行われた大阪自然史フェスティバルは 100 団体を超える環境系の団体が集まる「自然の文化祭」で SDCC は 2013 年から毎年出展しています。今年は 2 日間で 19000 人の来場者がありました。

ジュゴン、辺野古、やんばるに関するパネルを展示して、署名集め、ジュゴンクイズ、グッズ販売をしました。そして、世界各地で武力で多くの人が命を奪われている現状に抗議し、平和な世界を創ろうという願いを込めて「命どう宝」のパネルも展示しました。

年々辺野古の認知度が上がっていて、今年は大浦湾の軟弱地盤についてもご存じの方も増えています。多くの方が「とんでもない計画やね」「こんなすごい海埋めたらあかんやん」と快く署名してくれて、2 日間で 423 筆集まりました。やんばるについては、マスコミで世界自然遺産のことばかりが報道されるためか、北部訓練場の問題が忘れられているようで、今も米軍廃棄物が残り、オスプレイが飛び回る現状に驚かれる方もいました。



2 日間、朝から夕方まで立ちっぱなしでしたが、「去年もマスコット買ったよ。今年はどれにしようかな」というリピーターさんや元気な子どもたちに励まされ、がんばりました。「辺野古に行ったことがあります。こっちで沖縄に出会えるとは♪」と喜んでくれた読谷村から関西の大学に進学した学生さん、ジュゴンが大好きというカナダから来た女性、「子どもたちに沖縄を通じて自然や命の大切さを伝えたい」という中学の先生など、たくさんの出会いに感謝です。（関西 山根富貴子）



交流広場



與儀さんは、父親が沖縄出身で、東京で生まれています。アイデンティティにこだわり、大事にする方です。一坪の活動も熱が入っており、請われると琉球舞踊を、室内外の集会で披露しています。その時は、集会がとても盛り上がります。また、琉球人遺骨返還請求訴訟を支える会/関東の事務局をして、裁判のために京都や大阪へ足を運んでいます。

基地のない平和な沖縄はいつ？

1972年、沖縄が日本に「復帰」した年、中学1年の夏休みに初めて沖縄に行き、嘉手納基地の広大さに衝撃を受けました。金網のフェンスの向こうに白い米軍住宅が十分過ぎる間隔をもって建てられ、緑の芝生にはスプリンクラーでふんだんに水が撒かれていました。小さな家がひしめき合うように建ち、水不足を補うため屋上に球状のタンクを設置しているこちら側との格差に、憎しみの感情さえ湧いてきました。

凄惨な沖縄戦を経験した沖縄の地に、戦争（＝人殺し）のための軍事基地を長期間置き続けるのは、傷に塩をすりつけるような行為だと思います。戦争では日本に「捨て石」にされ、戦後は米軍の「太平洋の要石」として、常に道具として都合良く扱われてきたのが、私の愛する古里、琉球です。琉



集会場で琉球舞踊を披露する與儀さん。

球・沖縄が「基地の島」であり続けることが、米国よりむしろ日本にとって都合がよいことは、最近の琉球列島への自衛隊のミサイル基地配備・増強を見なくとも明らかです。

沖縄戦を経験したお年寄りたちが、再び軍事要塞化されていく沖縄を見ながら、子や孫に基地を残したまま逝かなければならないと思うと、胸が苦しくなります。

1879年、軍隊による「琉球併合・侵略」によって植民地とした琉球を、もういい加減に、日本は自由にしてほしいと心から思います。大学（京都大学だけではなく）が盗んだ先人たちのご遺骨も、日本による琉球に対する植民地政策を反省したうえで、早急に返還すべきです。遺骨返還の訴訟を通して、裁判所が初めて「先住民族としての琉球民族」と認定したことは、大きな収穫でした。

玉城デニー知事を「代執行」裁判にかけるなんて、とてもないこと。日本が沖縄から、大浦湾を盗るための手口です。こんなに恥ずかしい日本を何とかしなければ、と思います。

蛇足：よく皆さんが折っているジュゴンの折り紙は、「基地はいらんかね〜」の道ジュネーの時に私が考案し、作って配ったものです。活用してくださり、ありがとうございます。

（沖縄一坪反戦地主会・関東ブロック 與儀睦美）

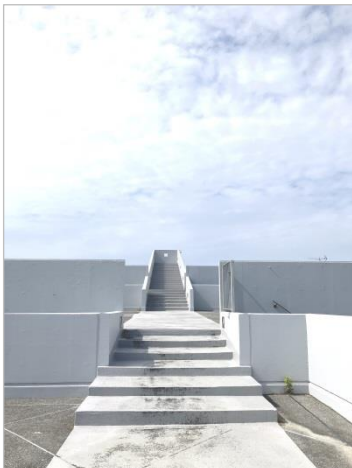
お詫び：前号交流広場の斉藤美智子さんはご存命であり、「故」の表記は誤りでした。お詫びして訂正致します。

㊦んさか通信★ジュゴンの㊦



「沖縄戦の図」

映画「沖縄戦の図」を鑑賞する前に、何年ぶりだろうか佐喜真美術館を訪れた。真喜志好一さん建築のコンクリート造りの建物が見える、これこれ♪素敵です。



佐喜真美術館の屋上の景色

屋上には6月23日の慰霊の日の日没線に沿ってつくられた6段と23段の階段があり、小窓から太陽の光が差し込む。登りきると普天間基地を一望できた、本当に基地のびっちり隣に建っているのだ。

来年1月29日まで2



「沖縄戦の図」作者の写真（佐喜真美術館内）

年振りに全14部作の沖縄戦の図原画展が開催されています。後で痛感しましたが映画を観てから実物の絵をみる事をお薦めします、あの絵のあそこに！とかありますので。

丸木位里・俊夫妻が沖縄の各地をめぐる戦争体験者の話に全身全霊を傾け研究者をも訪ねてあの絵を描きあげたとは知らなかった。そして沖縄の人に戦争の盾にして申し訳なかったと謝ったという。

「命どう宝」の思いが込められている。二度と戦争は繰り返してはならない・・・今この世にご夫妻が生きておられたらどう感じるだろうか。バトンを受取った私たちの信念が試されている。

（沖縄 小平裕美）

喜瀬武原コンサート - ~こらむ・コラム~



「喜瀬武原コンサート」をやると決めたのは、9月の内灘闘争 70 周年の集いで、歌いながらでした。喜瀬武原闘争があったことすら知らず、ただ単に自民党政府の非をなじってばかりでいる政治リーダーや評論家たちに、今一度「喜瀬武原」の歌の「山が泣いている。母が泣いている」の歌詞の意味と、「君は何処にいるのか」の「君」とは誰々を指すのか？、その深部に込めた思いを伝えたいからでした。

「山」とは龍宮神信仰の拠点「三神山」のこと。母たちが拝む御嶽の「嶽」は、「山」に向かって「犬」である母たちが物を言っている様子を表した字です。「犬」は龍宮神「大」を信仰する人のことです。

復帰後の 1973 年、その聖なる「山」に向かって米海兵隊が剣道 104 号線を封鎖し、105 ミリ曲射砲を撃ち込む実弾射撃場演習を始めました。それに反対して喜瀬武原区民が抗議集会を開いたのが、その年の暮れ 12 月 12 日でした。そのことを受け、全軍労を含む労働組合の団体が直接着弾地の「山」に入り、狼煙を上げ、命がけで演習を阻止する闘いが行われ、それが沖縄県民

の心を痛めた喜瀬武原闘争でした。その反戦の闘いは 74 ~76 年と続きましたが、しかし、日本政府は演習を止めるよう米軍に訴えるどころか、刑事特別訴訟法で「山」に潜入した労働者を逮捕したのでした。そして、闘いは裁判闘争となり、その刑特法被告の支援コンサートを 1977 年 12 月 12 日に那覇市民会館で行い、そのときに発表したのが「喜瀬武原」の歌でした。そこで、今回のコンサートでは逮捕され被告にされた糸数隆さんと仲村善幸さん、そして弁護士の池宮城紀男先生、さらに 104 号線で米軍属に殺害された女性の魂に、今も花を手向け、祈り続けている吉田勝廣さんをゲストに、お話を伺うことにしました。勿論、私が訴えたいのは「山」についてであり、「山」を信仰の拠り所にしてきた母たちの御嶽信仰についてです。琉球王国の平和の守護神であった龍宮神ジュゴンは、信じて祀らない限り、守護神として機能しないということです。復帰後の沖縄の龍宮神信仰が本土化の政治潮流に飲まれ、本土の祭りの曳山、山鉦、山車などと同様、母たちの祭りも形骸化していることを、反省すべきだということです。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

お詫び：前号のコラム最終段落「喜瀬武原闘争 70 年」の記載は、「50 年」の誤りでした。お詫びして訂正致します。

報告

ジュゴンの海の満月まつりに参加しました

10 月 29 日満月の日に大浦湾・瀬嵩の浜で満月まつりがひらかれました。コロナ禍で 4 年ぶり 22 回目のまつり、今回はちょっと特別、HopeSpot を祝しての開催でした。まあいいお月さまは浜に集うみんなを照らしてくれていました。

日が暮れ始めた頃、区長夫妻のかぎやで風で厳かに幕開けです。子どもたちのフラや歌、手話パフォーマンスなどのステージが続き、沖縄そばやたこ焼きのお店、ヨーヨー釣りもありとても賑やかです。みんな待ち望んでいたんですね、楽しげな雰囲気は漂っていました。辺野古新基地建設を止

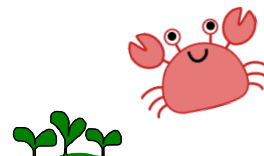
め、ジュゴンの海を守るために始まった満月まつりがずっと続けられていることが感慨深く、参加できてほんとに良かったです。

そして、SDCC から吉川さんが HopeSpot の意義を語り、なんと私も一緒に即席トリオで「満月まつりで」を歌いました。ぶっつけ本番でひやひやものでしたが歌えて良かったです。この歌は、吉川さんのお父さん安一さんの作詞で、HopeSpot を記念して作られました。すてきな歌詞で HopeSpot のキャンペーンソングにという声が！「芭蕉布」のように歌い継がれていくといいな。

トリは海勢頭バンドの登場です。「ザンの海」「辺野古旅情」では着ぐるみジュゴンが登場し、「琉球讃歌」で最後はカチャーシーを踊り幕を閉じました。余韻に浸り、波音に耳を傾け満月を見上げていると「自然はすごいね」と誰かがつぶやきました。基地建設を止めましょう。そして、ジュゴンが帰ってきた清らかな海で満月まつりをしましょう。この浜で歌い踊り笑顔いっぱいの祭りがずっと続きますように。（関西 池側恵美子）



ホープスポット認定を祝う四年ぶりの満月まつりで。





INFORMATION



<全国・首都圏>

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・12/1(金) 政府交渉(防衛省、環境省)
12:30 参議院議員会館ロビー集合
(参加者はすでに締め切っています。オンライン配信は今回予定していません。)
- ・12/10(日) 海勢頭豊 喜瀬武原コンサート(詳細は下記)
うるま市石川会館 開場 12:30 開演 13:00 一般前売り 2000 円
- ・とんでもないぞ! 辺野古「代執行」キャンペーン
11/18(土)~12/10(日) 各地でアピール行動
集会とデモ 12/10(日) 14 時~ 東池袋中央公園
よびかけ 辺野古の海を土砂で埋めるな首都圏連絡会

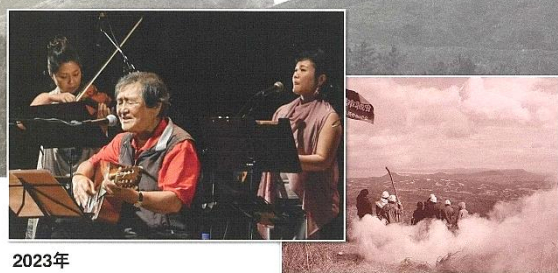
- ・11/30(木) 14:00~ じゅごん茶話会
SDCC 関西事務所
- ・12/4(月) 11.23 県民集会おおさか同時アクション
第 5 回実行委員会
大阪市中央会館 19:00~
ふりかえりと今後の行動について
- ・12/21(木) じゅごん茶話会 街頭行動と忘年会
詳細は SDCC ブログ「じゅごん掲示板」を参照
してください。



海勢頭豊 喜瀬武原コンサートのお知らせ

- ・場所: うるま市石川会館
- ・日時: 12 月 10 日(日) 開場 12:30 開演 13:00
- ・一般: 2,000 円(当日価格 2,500 円)
- ・学生(小学生~高校生): 500 円(当日価格 1,000 円)
※未就学児入場不可
- ・プレイガイド: りうぼうチケットカウンター、コープアプレ
- ・主催、問い合わせ 海勢頭豊コンサート実行委員会
(有) ジー・ジー・エス内
TEL: 098-946-6663 E-mail: gama@gettounohana.com
- ・プログラム: 13:00~キセンバル闘争記録映画上映
14:00~海勢頭豊コンサート
トークゲスト 池宮城紀夫(弁護士) 糸数隆、仲村善幸、吉田勝廣

海勢頭豊 キセンバル 喜瀬武原コンサート



2023年

12月10日(日) 12:30開場 うるま市石川会館

098-965-5630 うるま市石川1丁目1番

コンサートチラシ画像より転載

関東(10/29) 関西(11/22) 団結まつりに参加しました



お詫びと訂正

チャンプルニュース Vol.130 号(9月号)で以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- ・6面 「もう一つの7000日」の記事
2 段目 下から6行目「故斎藤美智子さん」(誤)
→「斎藤美智子さん」(正)

現在は座り込みには参加しておられませんが、ご健在で、基地反対の強い意志をお持ちです。大変失礼しました。

- ・7面 コラム 2 段目 下から3行目
「キセンバル闘争70年」(誤) →「キセンバル闘争50年」(正)

会費(2000 円)&カンパ振り込み先

郵便振替:

加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○一九支店
口座番号 普通 0660199

ジュゴンちゃんぷるニュース VOL.131 2023 年 11 月 28 日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the D5ugong Campaign Center (SDCC)
(首都圏事務所) 〒162-0814 東京都新宿区新小川町 6-38
大曲マンション 201 号 なかま共同事務所内
(関西事務所) 〒534-0025 大阪市都島区片町 2-9-21 京橋ベース 302 号
連絡は以下のメールにて受け付けております。
○ URL <http://www.sdcc.jp/> ○ E-MAIL info@sdcc.jp

ちゃんぷるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!



SDCC の website
<http://www.sdcc.jp/>
には、左記 QR コードより
アクセスできます